



Finnair? or Others?

フィンエアー、実は欧州へ最短最速。



Mr.ヨーロッパは問いかける。 なぜ、フィンエアーを 選ばないのかと。



僕の1年は、日本とヨーロッパに、

半分ずつ彩られている。

ヨーロッパはビジネスとバカンスに。

日本は、愛する家族との時間に。

そしてその2つの彩りをつなぐのは、

いつもフィンエアーである。

ヨーロッパと日本を最短最速で結ぶ

このエアラインを知った時、

僕の先入観は大きく覆された。

フライト距離の短さ。乗り継ぎのスムーズさ。

調べれば調べるほど、快適なサービス。

ヨーロッパのビジネスマンたちにとって、

日本への出張にフィンエアーを使うことが

半ば常識化していることもうなずける。

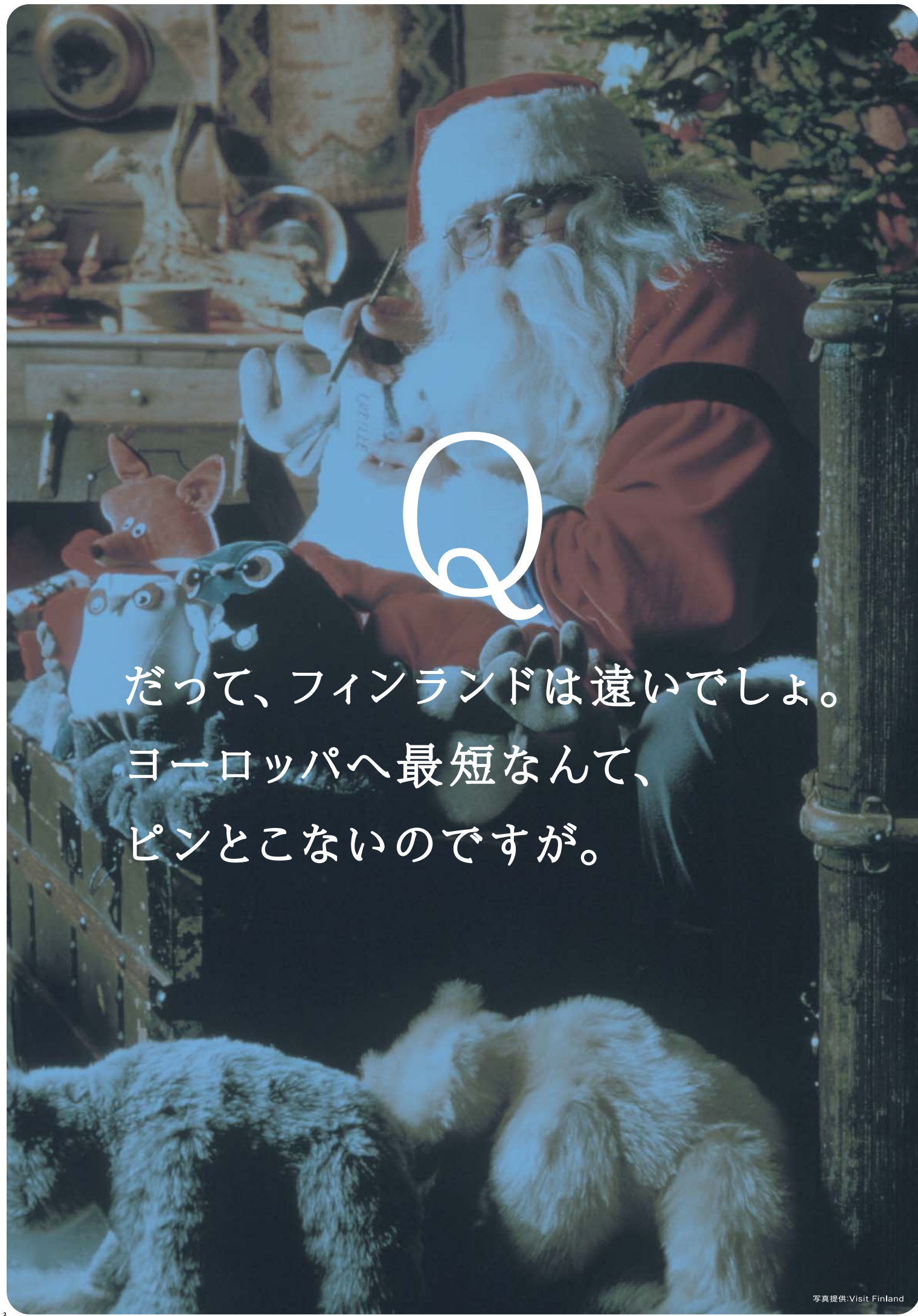
日本の友人たちよ。

僕はあえてあなたに問いかける。

なぜ、フィンエアーを選ばないのかと。

フィンエアーは欧州へ最短最速。そして1300万人に信頼されている。

1. ヘルシンキまで約9時間30分。この数字、ヨーロッパを知っている人ほど驚きは大きい。
ヘルシンキ経由でヨーロッパ32都市^{*1}を最短最速で結ぶのが、最大の特徴だ。
2. 成田からは3月28日より週7便のデイリー運航。名古屋からも増便して週5便、関空はデイリー運航の週7便。
日本から週19便^{*2}という、その多さと便利さはヨーロッパ系エアラインではトップクラスである。
3. すべての日本発着便には日本人クルー。ヴァンター空港では日本人スタッフ。
旅の間ずっと、きめ細やかにあなたをサポート。この安心感は大きい。
4. AEA（ヨーロッパ航空協会）の定時発着率調査で2004年、2005年第1位。
その他、「世界で最も安全なエアライン」など、ヨーロッパのベストエアラインのひとつとして信頼されている。

A photograph of Santa Claus in his workshop, surrounded by toys and reindeer, with a large white letter 'Q' overlaid on the image. The scene is dimly lit, with warm light from a fireplace in the background. Santa is wearing his traditional red suit and white beard, and is holding a small object in his hand. The workshop is filled with various toys, including a reindeer and a small dog. The overall atmosphere is cozy and festive.

Q

だって、フィンランドは遠いでしょ。
ヨーロッパへ最短なんて、
ピンとこないのですが。

写真提供: Visit Finland

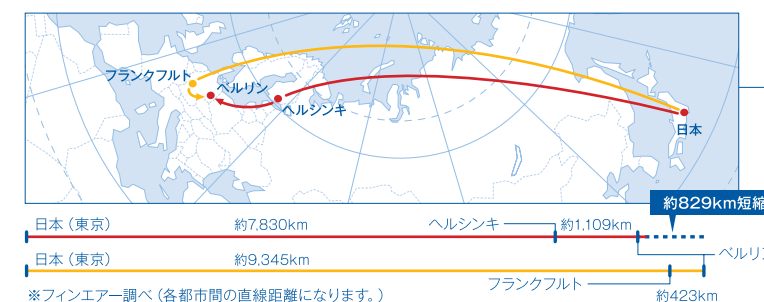
A 地図ではなく、
地球儀で確かめてほしい。
ヘルシンキを経由すると、
フライト距離にロスがない。



地図帳で見慣れた、いわゆるメルカトル図法*で描かれた地図を思い浮かべてしまうと、信じられないかもしれません。日本ーヘルシンキ、平均9時間30分。地球儀で見ると、シベリア上空を越えれば、すぐにフィンランド。まさに、ヘルシンキがヨーロッパの玄関口であることが、理解いただけるはずです。つまり、ヘルシンキを経由すれば、ヨーロッパの各都市とも距離的なロスがなく、ほぼ直線的に結ぶことが可能。経由便にもかかわらず、直行便とほぼ同等の時間で到着します。フィンエアーが日本と最短最速で結ぶヨーロッパの都市は、なんと32都市にも及びます。(2009年冬期スケジュールより)

※出発日および日本国内の出発空港（成田、名古屋、関空）によっては、最短最速で到着できる都市が変更となる場合があります。

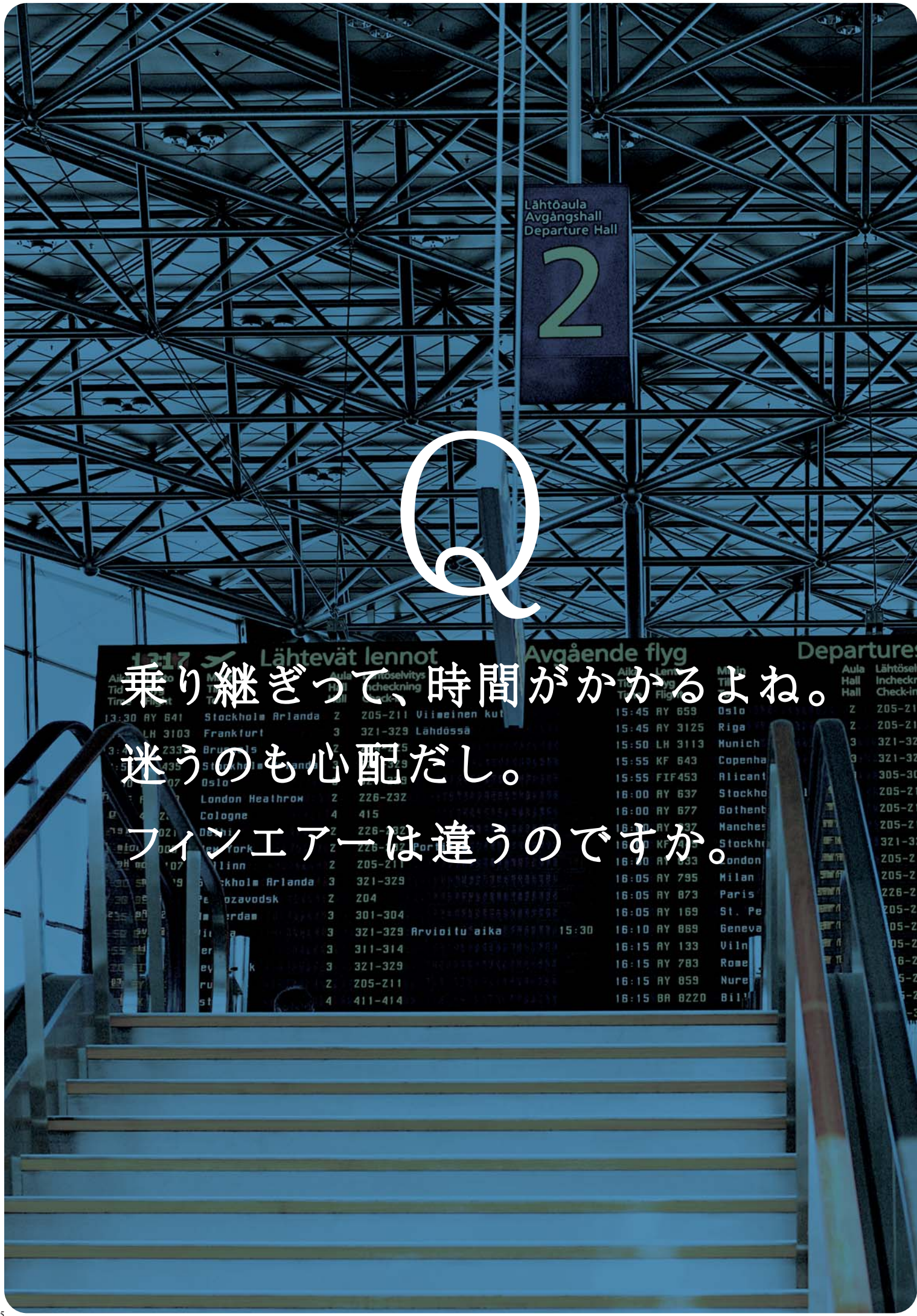
※出発日および日本国内の出発空港（成田、名古屋、関空）によっては、最短最速で到着できる都市が変更となる場合があります。



実例を挙げてご説明しましょう。例えば直行便のないドイツのベルリンへは、同じ国のフランクフルトを経由するより、ヘルシンキ経由の方が、約829kmも短いフライトが可能です。このことを頭に置いてヨーロッパの各都市をご覧ください。ヘルシンキ経由だからこそロスなく飛べる。これが事実です。

日本でもっとも有名な世界地図といえば、1569年、地理学者であるゲラルドゥス・メルカトル氏によって発表されたものでしょう。この世界地図は、もともと航海図として生まれたものなので、方位は正確。しかし、そのために距離や面積は極に近づくほど拡大され、たとえば緯度60°では、緯線は赤道の約2倍に拡張されています。この地図で見ると、確かに高緯度のフィンランドは、日本からとても遠い国として誤解されるのも無理はありません。ぜひ、地球儀でフィンランドを確認してみてください。





乗り継ぎって、時間がかかるよね。
迷うのも心配だし。
フィンエアーは違うのですか。

A

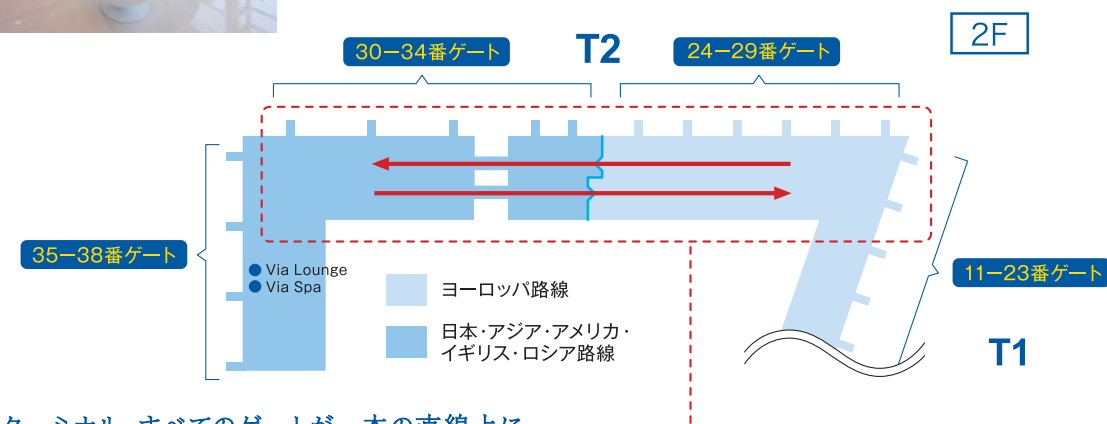
乗り継ぎを主眼に設計された、
ヘルシンキのヴァンター空港。
そのスムーズさは
欧州最短クラスの35～40分。



スマートという言葉は、この空間のために。リニューアルしたヴァンター空港。



フィンエアーの最短最速フライトを支えるもう一つの理由。それは、ヘルシンキ、ヴァンター空港の機能性です。もともとハブ空港として設計されたこの空港は、2009年のリニューアルによってさらに快適性が向上。乗り継ぎ時間35～40分という数字は、定時発着率とともにヨーロッパ屈指のスマートさを示しています。



到着便、出発便は同じターミナル。すべてのゲートが一本の直線上に。

ヴァンター空港では、到着便、出発便がともに同じターミナルとなるので、乗り継ぎがとてもスムーズ。すべてのゲートが一本の直線上に置かれ、移動距離も短くなるよう配慮されています。さらに、日本からの到着時間に合わせて、日本人スタッフがお出迎え。乗り継ぎのサポートまできめ細かに行います。

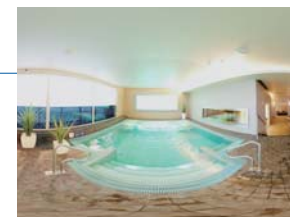
リラクゼーションもビジネスも。「Via Lounge」はゆったりと機能的。

新たにオープンした「Via Lounge」は、スタイリッシュな北欧家具で知られるIsku Interior社がデザインを担当。1,000㎡という広さの中に、6つのシャワールームをはじめ、多彩なビュッフェ、ワインバーなどが配され、上質なリラクゼーション空間となっています。さらに無料のWi-Fi接続をはじめ、iMac、携帯電話の充電が可能なワークデスクなど、オフィスのような高い機能性を備えています。



最短最速フライトで短縮できた時間を「Via Spa」のリラックスタイムに。

ドイツ人スパ研究者、パウル・ハズラワー氏の革新的な理論から生まれた、「Via Spa」。伝統的なフィンランドサウナをはじめ、4種類のサウナ。さらに、オーガニック素材で統一されたクイックトリートメントルーム、ミネラルウォータープールも完備。マッサージやエステなど、さまざまなメニューで、旅や時差による疲れをゆったりと癒すことができます。



Q
最短最速は、うれしい。
でも、その9時間30分を
快適な時間にしてくれますか。

A

それは僕が約束しよう。
ワイン、料理、
フルフラットシート。
何度乗っても、快適だ。



日本とフィンランドの乗務員が、お客様の満足をいちばんに考えたサービスを。

「地球の歩き方」エアラインランキングの接客態度、サービス部門では第1位を。今、お客様が何を求めているのか。そのことを第一に考えたホスピタリティあふれるサービスをご提供します。



白と青を基調にした、上質なラグジュアリースペース。

明るく広々としたキャビン。ゆったりとしたシート配列。オフィスにいるような快適さと、リビングにいるようなくつろぎを、お客様にお届けします。



最高級のワインセクションと、至福のお料理をあなたに。

1997年の「ベストワインセラー」(雑誌「Business Traveller」)総合第1位にはじまり、数々の賞に輝いたワインセクション。産地やブランドにこだわらず、その年、その時期の逸品を揃えたワインリストから、好みのワインをお選びいただけます。選りすぐりの素材を美味しく華麗に仕上げた、至福のお料理とともにご堪能ください。



フルフラットシート

より快適に、より広く。最新機ではビジネスクラスのキャビンを一新。

エアバスA330-300では、座席を完全に水平な状態にできるフルフラットシートをいち早く導入。体に無理がかからず、ゆったりとリラックスいただけます。しかも、ワークデスクが広く、パソコンや読書にもゆとりのスペースを確保。さらに、仕事にもっと集中したい方や、心からのくつろぎを求める方には、プライベートスペースを重視したシングルシートをご用意しました。通路へのアクセスもスムーズで、ファーストクラスの快適さを実現しています。

全席で、ビジネスをサポート。全席で、エンターテインメントを楽しむ。

ビジネス、エコノミー全席に、パソコン用電源、USB電源、衛星電話を。電子メール、SMSメッセージの送受信や地上への電話連絡、座席間通話も可能です。機上でも仕事が進む、充実のオフィス機能を装備しました。また、映画や音楽、テレビ番組、ゲームなどの機内エンターテインメントは約170ものチャンネルをご用意。12インチ※の大型パーソナルモニターでお楽しみいただけます。

※フルフラットシートの場合



ビジネスクラス。

その心地よさを実感できる、数々のサービスをあなたに。

- ポーターバックサービス お一人様につき1個の手荷物を無料でお届けする空港宅配サービス。
- プライオリティサービス 専用チェックインカウンターや専用レーンなど、ワンランク上のサービスを。
- くつろぎのバーカウンター ドリンクや軽食、フルーツなどをお好きな時にお召し上がりください。

※機材によりご利用できない場合がございます。

エコノミークラスにも 快適さを。

「レカロ社」の高品質シートを、
エコノミークラスにも採用して
います。



Q

気になるのは環境のこと、
安全性のこと。
それはどうなのだろう。

A

エコのリーディングエアライン。
そしてそれは、
安全性にもつながっている。



エコのリーディングエアラインへ。最短距離で飛ぶ。ムダなく乗り継ぐ。

最短フライトで移動時間を減らす。ヴァンター空港では、乗り継ぎのムダを省いて駐機時間を減らしていく。着陸方式にも研究を進め、エコ効果の高い連続降下進入方式を採用する。燃料消費やCO₂排出の徹底的な対策で、すでに最高レベルの環境性能をさらに次の次元へと高めていきます。

環境性能と安全。その両立のために、日本路線の機齢は平均1.5年以内。

日本路線では、製造から平均1.5年以内の航空機を。燃費効率はもちろん、CO₂の排出量を削減できる最新鋭機を配備。例えば今後導入予定のエアバスA350XWBのCO₂排出量は、ボーイングMD-11を指数100とすると、69という高い環境性能を示しています。

機内でも、空港でも、徹底した分別とリサイクル。

航空会社では世界初の環境マネジメントシステム規格「ISO14001」（ケータリング部門）を取得。機内や空港内で、ガラス、紙、プラスチック、金属などを徹底した分別方式で回収し、積極的なリサイクルを行っています。現在、ヴァンター空港着便は機内食廃棄物のリサイクル率99%以上を実現しています。

■フライトスケジュール 夏期時刻表 2010年3月28日～10月30日

日本発 → ヘルシンキ着

成 田	AY074	ヘルシンキ
11:00 発		15:20 着
【出発曜日】月・水・金・日		【使用機材】エアバスA340/A330
12:00 発		16:20 着
【出発曜日】火・木・土		【使用機材】エアバスA340/A330
名古屋	AY080	ヘルシンキ
11:00 発		15:10 着
【出発曜日】月・火・木・土・日		【使用機材】エアバスA330
関 空	AY078	ヘルシンキ
11:00 発		15:10 着
【出発曜日】月・火・水・木・金・土・日		【使用機材】エアバスA340/A330

※ 使用機材は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。 ※ スケジュールは、予告無しに変更になる場合がございます。
※ 日本国内の乗り継ぎやヨーロッパ各都市へのフライトスケジュールは、「TRAVEL GUIDE」をご確認いただくか、フィンエアーまでお問い合わせください。

ヘルシンキ発 → 日本着

ヘルシンキ	AY073	成 田
17:15 発		08:55 着 (翌日)
【出発曜日】月・火・水・木・金・土・日		【使用機材】エアバスA340/A330
ヘルシンキ	AY079	名古屋
17:15 発		08:55 着 (翌日)
【出発曜日】月・水・金・土・日		【使用機材】エアバスA330
ヘルシンキ	AY077	関 空
17:15 発		08:55 着 (翌日)
【出発曜日】月・火・水・木・金・土・日		【使用機材】エアバスA340/A330

(政府許可申請中)

世界の旅をもっと便利にシンプルに。

■ワンワールド <http://ja.oneworld.com/>

フィンエアーはグローバルアライアンス oneworld に加盟しています。メンバーはブリティッシュ・エアウェイズ、キャセイパシフィック航空、アメリカン航空など世界の主要航空会社11社。150カ国約700都市を結ぶネットワークで旅をサポートしています。各社マイレージプログラムは相互提携しており、各上級会員に共通のサービスをご提供。ビジネスクラスご搭乗で世界550以上の空港ラウンジがご利用いただけるなど特典満載です。



ビジネスクラスご利用でポイントが2倍。

■フィンエアープラス www.finnair.co.jp

飛行距離に応じてポイントが貯まるフィンエアーのマイレージプログラム『フィンエアープラス』。獲得ポイントはフィンエアーおよび oneworld 加盟会社の無料航空券やホテル宿泊券など、国内外でお役立ていただける、さまざまな特典と交換できるお得なプログラムです。どうぞご利用ください。(年会費、入会費無料)

